

# 地域全体で子どもたちを育む

～菊キクネットの取組について～

【下関市 菊川中学校区】

## 地域の概要

下関市菊川町は菊川盆地に位置し、その中心付近に人口が集中しています。周囲には華山や中山溪をはじめとする広大な山々があり、また、町の中央で南北に流れる木屋川と東西に流れる田部川が合流し、豊かな田園地帯が広がっています。地域の人々の学校に対する関心も高く、協力的な地域です。

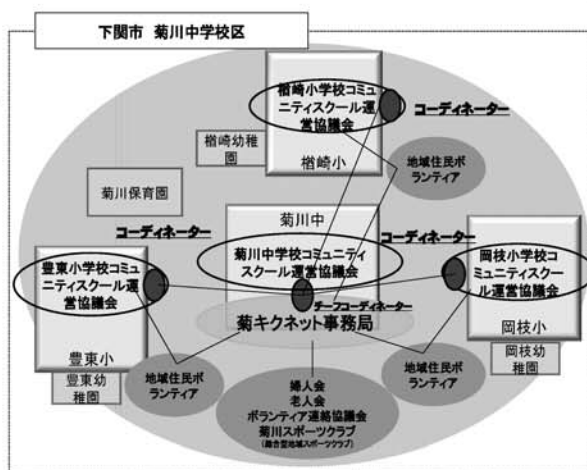
人口	8,089人	
世帯数	3,207世帯	
対象校及び 児童生徒数	菊川中学校	198人
	豊東小学校	222人
	岡枝小学校	127人
	檜崎小学校	89人

## 組織の内容

学校現場における教員の業務量の増加に伴う多忙感の解決、きめ細かな指導を行うための時間の確保、また、地域住民の自己実現や生きがいづくりにつながることを期待して、昨年度、ふるさと下関協育ネット「菊キクネット」を設立しました。昨年度は、菊川中学校内のみで組織されたふるさと下関協育ネット協議会であり、主な活動も中学校内におけるものがほとんどでした。

そこで今年度は、幼児期から中学校卒業程度までの育ちや学びを地域ぐるみで見守り、支援する、つまり、「地域の子どもは地域で育てる」という観点から、中学校だけでなく、地域にある3小学校を含んだ枠組みで展開しています。具体的には、菊川中学校内に事務局を設置し、そこに総括的な役割をもつチーフコーディネーターを配置しました。また、それぞれの小学校にもコーディネーターを置き、各学校のニーズの把握と地域人材活用の調整を行っています。チーフコーディネーターには地域の実情を理解されている社会福祉協議会の方にしていただいています。

菊川町では、以前から各小学校に学校のニーズに応える小学校ごとの応援団が存在していました。そこで、今年度「菊キクネット」を地域にある3小学校を含んだ枠組みで組織化するにあたり、この既存の応援団は解体、再編するのではなく、今までどおりの形を残すことにしました。そして、各学校がこれまで取り組んできた学校支援に関しては継続して取り組むこととしました。また、今までの応援団だけでは十分に答えられなかった支援や新たなニーズに対しては、チーフコーディネーターと各学校のコーディネーターが連携し取りまとめることで、既存の応援団と応援団をつないだり、新たな応援団を探したりして、答えることができるようにしました。支援対象が1中学校3小学校になったことで、地域住民にとっても活動場所や活動機会が増え教育力を発揮する場が広がりました。「菊キクネット」の果たしている役割は地域と学校の双方にとって大きいといえます。



しめ縄作り